



# 大網ロータリークラブ

## Club Weekly Bulletin

- クラブ創立：2000年1月13日
- 例会日：水曜日（12：30～13：30）
- 例会場：中部コミュニティセンター  
TEL 0475-73-3337 FAX 0475-73-4360
- 事務所：〒299-3251  
大網白里市大網 450-6 ユアサビル 2階  
TEL 0475-70-0200 FAX 0475-70-0222
- 会長：大越 将司 幹事：星野 実
- 広報・公共イメージ向上委員会  
委員長 小倉 光夫・会報担当 石田 英世

2024年1月24日(水)  
第25巻 第26号

通巻第1056

<http://www.oamirotary.com>  
E-mai : rc@oamirotary.com



世界に希望を生み出そう

### 本日の例会

点 鐘 会長 大越 将司  
ソング 手に手つないで  
会長挨拶 会長 大越 将司  
幹事報告 幹事 星野 実  
プログラム

卓話 矢部慎一 会員ご息女  
(株)ハッピーアロー

代表取締役 森 順子 様

「千年企業の共通する秘訣とは？」  
千年続く企業の裏側」

### ニコニコBOX

大越 将司 会長

能登半島地震へのご協力、ありがとうございます。

山岸 健一 会員

誕生日祝い、ありがとうございました。

例会日	1月17日	12月20日
会員数	30	30
出席	13	17
欠席	17	13
M U	0	0
免除	8	9
出席率	70.00%	86.67%

### 会長挨拶

大越 将司 会長



みなさん、こんにちは。

先週土曜日は雷に雪と荒れ模様の天気で、ここ数日は冷え込んでおりました。本日は穏やかな天気で少しほっとしております。コロナウイルス感染者も増加傾向にあるようです。皆様体調には、ご注意ください。

さて 本日は、「阪神淡路大震災」発災から 29 年ということで、今朝のニュースでも中継されていました。1995年1月17日朝5時46分に発生した大地震。阪神高速道路の橋げたが、倒壊している光景は衝撃的でした。私は大学受験の年だったこともあり、よく覚えています。死者 6,434 人、負傷者 43,792 人、倒壊した家屋 249,180 棟。数字を見て、改めてその災害規模の大きさに驚嘆せざるをえません。

阪神淡路大震災は悲しい記憶として、我々日本人の心に残っていますが、一方で復興を手助けしようというボランティアが、延べ 100 万人以上集まったそうで、この 1995 年は、日本における「ボランティア元年」ともいわれています。

当時 ボランティアをコーディネートする市民組織が次々と誕生し、世界中からたくさんの方の義援金が集まりました。ところが、多くの団体が法人格を持たない任意団体だったため、会計監査に沿った経済支援受けられないといった問題が発生し、市民団体の新たな組織のあり方や法整備の必要性がクローズアップされました。これにより、3年後の1998年に成立したのが「特定非営利活動促進法」です。今では当たり前のように見聞きする「NPO 法人」ですが、あの阪神淡路大震災がなければ、成立していなかったのかもしれない。

今年元旦に発生した、能登半島地震。なかなか復興が進まないといった報道が続いています。しかし前述の通り、我々人類は大災害の度に変化し、前進してきた歴史があります。小高直前会長から情報提供いただいた、茂原市「オートウィル」様のトレーラートイレの被災地への提供は、大変勇気づけられました。我々も、出来ることを粛々と行い、被災地の復興を祈りましょう。

以上で、私の会長挨拶といたします。

☆1月26日(金) → 会長幹事会  
(ホスト:大綱RC) 午後6時より  
出席者:大越会長、星野幹事  
石田会長エレクト、小高会員

☆1月28日(日) → ひすいかい子ども  
食堂開催

①1月31日(水) → 休 会

<2月予定 例会・理事会> 場所:中部コ  
ミュニティセンター

☆ 2月 3日(土) → 補助金管理セミ  
ナー (ZOOM 参加)  
会場:TKP ガーデンシティ  
ZOOM 参加者:大越会長、星野幹事、  
小高徹会員

①2月 7日(水) → 通常例会 点鐘  
12:30 理事会中部 CC 11:00  
例会案内

- 1. 2月誕生日祝い 該当者無し
- 2. 卓話者未定

②2月14日(水) → 通常例会  
点鐘 12:30  
卓話者未定

③2月21日(水) → 通常例会  
点鐘 12:30  
卓話者未定

④2月28日(水) → 通常例会  
点鐘 12:30  
卓話者未定

ロータリー財団寄付者報告

年次基金追加寄付者

星野 実 会員

高野 祐二 会員

今年度 当クラブは、計 4,500 ドルを  
財団へ寄付し、会員 1 人当たりの年  
額目標 150 ドルを達成する事が出来  
ました。

皆様のご支援、ご協力に感謝申し上  
げます。

# 卓 話

大高 榮一 様



## 「めでたい話」

山武郡地方では、正月のお雑煮に焼いた「ハバノリ」を揉んでたっぷりかけますが、これは「幅のある人生」を願ったからである。「餅」を正月に食べるのは、神の食べ物である餅を食べる事で、「もちつもたれつ・粘り強く・寿命が長く伸び・金持ちになる」という縁起の良い掛詞

に由来している。

地方によっては「菜雑煮」を嫌うのは、「菜食う」が「泣く」に通ずるからである。

白い半紙は清めの意味があり、神を招き入れる。「紙」は「神」にも通ずるという訳で大切に扱われ、御幣(幣束の尊敬語)に紙を細くしたもので穢れを祓い清める。「半紙」とは、杉原紙を山口県は「岩国半紙」と半分に切り、習字用として普及。半紙一帖(20枚入)・昔はいただき物の返礼に半紙一帖を差し上げた。



十二支は、時刻や方角を示したものでもあった為、無学でもわかる様にと子・丑・寅・卯・辰・巳等を誰もが絵を見ただけで理解出来るのだが、竜だけは架空のものを用いている。本来なら十二支は鼠・牛・虎・竜・蛇等とは理解出来ない当て字なのだ。十二支は一番身近な猫が採用されていないのは、寒い国の為、エジプトから猫が輸入されていなかったという訳だが、大切な仏教の教典が伝えられると、鼠の害から守る為に猫が輸入されている。

昔物語りでは、天高く伸びた四本の松の巨木があり、その地を「四天王」と称したが、神のお告げがあり、四天王(持国天・増長天・広目天・多聞天)の2mものの仏像を造り、東方に向け、出達せよとの事で担いで出発したものの、あさりの重さに青ざめた地を「粟生」と称し、肩のくい込みに耐えきれず肩を入れ替えた地が「片貝(肩がえ)」と称し、これ以上運べねえから戻すべかと相談した地が「本須賀(戻すか)」と称され、これ以上運べば命にかかわると弱音を吐いた地が「井の内(命)」と称され、一息入れて待つべかと称した地が「松が谷」になり、相談の結果、近くの勝覚寺に納められたという地名伝説があり、鎌倉時代の仏像は、県指定有形民俗文化財として地域の信仰を集める見事な迫力ある四天王像である。

2月3日の節分の豆まきは、豆「魔滅(まめ)」に通じ、角と虎皮のパンツの鬼は、鬼門とされる方角が「丑寅」(その年の神様の来臨する方角)で恵方巻を今年は「東北東」に向け丸かじり(切らず)する。

「辰年」の竜は、「立つ」に由る意味もある様に、山武郡の銘木である「榎」の字源は「真(偽りのない)」木にふさわしく、玉造りの木の形が中国人好みの「竜」が天に昇ると好評で1千万円級の輸出が取引きされて居る程だ。「いかのぼり」の足は10本であるが、イカの足を「下足(げそ)」と称するのは、寄席の「下足番」が、10足ごとに整理してお客のはきものを預っていた事に由る言葉である。

「能登地震」の「震」の字源が「雨」の恵みは「辰」に由る事が見てとれる様に、「天水(雨水)」は水害をもたらす「諸刃の剣」の恐ろしさも秘めている。中国の剣とは、両刃の切れ味があり、敵を斬る一方で、へたをすると己を傷付ける恐れもあるのだ。

「招き猫」とは、右手招く、金運を呼び寄せるとばかりに左手で千万両の小判を抱えて居る。左手をあげ招き、右手で「大入り」の文字を抱えているのは、人との縁を招き入れる猫で、アメリカ向けの招き猫は、右で(ドル)を抱き、左手の招く手は逆向きであり、目は青い。

